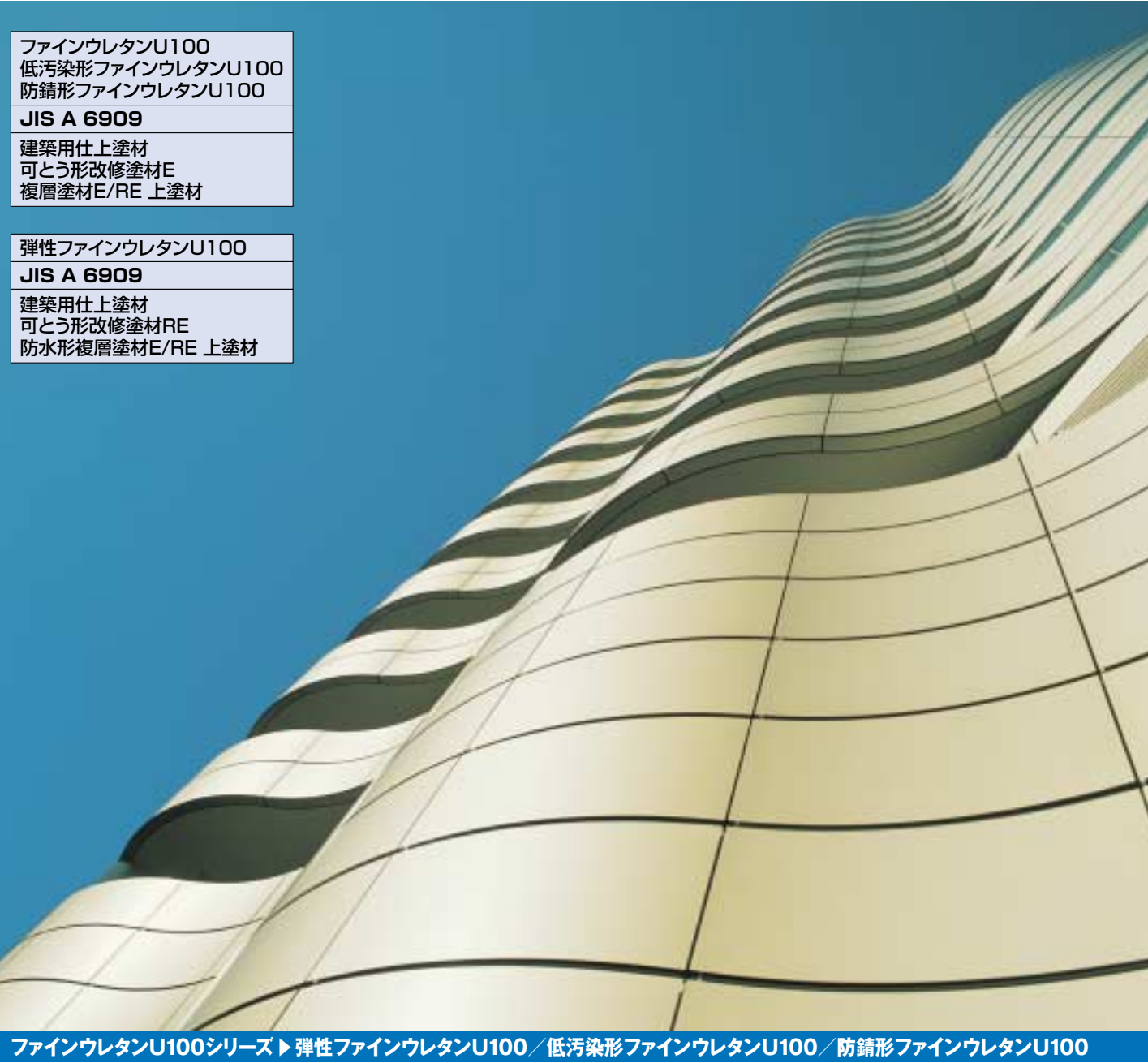


ニッペ ファインウレタンU100

万能形ウレタン樹脂塗料の代名詞。



ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆



ファインウレタンU100
低汚染形ファインウレタンU100
防錆形ファインウレタンU100
JIS A 6909
建築用仕上塗材
可とう形改修塗材E
複層塗材E/RE 上塗材

弾性ファインウレタンU100
JIS A 6909
建築用仕上塗材
可とう形改修塗材RE
防水形複層塗材E/RE 上塗材

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器的表示とは異なる場合があります。
 □詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
 □本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

ニッペ ファインウレタンU100

危険物表示

商品名	ファインウレタンU100		弾性ファインウレタンU100		ニッペファイン浸透シーラー	
	塗料液	硬化剤	塗料液	硬化剤	塗料液	硬化剤
化学名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂クリヤー塗料
危険物区分	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類
危険等級	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)
有機溶剤区分	第3種等	第3種等	第3種等	第3種等	第3種等	第3種等

商品名	低汚染形ファインウレタンU100		防錆形ファインウレタンU100		ハイボンファインプライマーⅡ	
	塗料液	硬化剤	塗料液	硬化剤	塗料液	硬化剤
化学名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料
危険物区分	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類
危険等級	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)	Ⅲ(火気厳禁)
有機溶剤区分	第3種等	第2種等	—	—	第2種等	第2種等

安全衛生上の注意事項 <ニッペファインウレタンU100 ホワイト塗料液>

<ul style="list-style-type: none"> ・本来の用途以外に使用しないでください。 ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。 ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。 ・容器を密閉してください。 ・容器および受器を接地してください。 ・防塵型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。 ・火花を発生しない工具を使用してください。 ・粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。 ・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。 ・必要とき以外は、環境への放出を避けてください。 ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 ・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。 ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。 ・吸入した場合-空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 ・飲み込んだ場合-気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。 ・眼に入った場合-水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 ・肌の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。 ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水シャワーで洗ってください。 ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。 ・取り扱った後、手を洗ってください。 ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。 ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合に 	<ul style="list-style-type: none"> ・は洗濯してください。 ・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。 ・暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別措置を実施する。 ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ・水を消火に使用しない。 ・容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。 ・旋盤して子供の手の届かないところに保管してください。 ・直射日光や水濡れは厳禁です。 ・積み重ねは3段までとしてください。 ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。 ・内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。 ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
危険	危険有害性情報



■詳しい情報はホームページで

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

日本ペイント株式会社

お客様センター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- ISO14001を全事業所で認証取得。
- このカタログは、再生紙を使用しています。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
 ※本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ※© Copyright 2008 NIPPON PAINT Co.,Ltd All right reserved.

カタログNo.
NP-M160

KB081106T
2008年11月現在

商品体系

工程	商品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/ 缶当たり/1工程	ポットライフ (23℃)
下塗り材	アンダーフィラー弾性エクセル	可とう形改修塗材E	16kg	ホワイト	—	12~20m ²	—
	ファイン浸透シーラー	ターペン可溶2液形エポキシ樹脂シーラー	15kgセット (罐12.5kg 罐2.5kg)	透明	—	75~93m ²	6時間
	水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)	水性カチオンエポキシ複合形下塗材	15kg	乳白色 白	—	93~150m ²	—
	ハイボンファインプライマーⅡ	弱溶剤形2液形エポキシ樹脂さび止め塗料	16kgセット (罐14.4kg 罐1.6kg) 4kgセット (罐3.6kg 罐0.4kg)	グレー 赤さび色 ホワイト	—	16kgセット 88~100m ² 4kgセット 22~25m ²	6時間
主材	1液ファインウレタンU100木部下塗	ターペン可溶速乾木部下塗塗料	3kg 15kg	白 チョコ淡	—	15~25m ² 75~125m ²	—
	タイルラックEMA-Sベース100K	水性アクリル樹脂系複層塗材E	20kg	白	—	10~14m ²	—
	DANタイル中塗	水性アクリルゴム系防水形複層塗材E	20kg	白	—	11~25m ²	—
	ファインウレタンU100	ターペン可溶2液形ウレタン樹脂塗料	15kgセット (罐13.5kg 罐1.5kg) 4kgセット (罐3.6kg 罐0.4kg)	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り	15kgセット 88~125m ²	10時間
弾性ファインウレタンU100	弾性ターペン可溶2液形ウレタン樹脂塗料	15kgセット 88~125m ²				10時間	
低汚染形ファインウレタンU100	低汚染ターペン可溶2液形ウレタン樹脂塗料	4kgセット 23~33m ²				8時間	
上塗り材	防錆形ファインウレタンU100	防錆形ターペン可溶2液形ポリウレタン樹脂塗料	20kg	白	—	—	10時間

注)「1液ファインウレタンU100木部下塗」は、エポキシ樹脂塗料であるため「ファインウレタンU100」は混ざりません。
 注)JIS A 6909 仕様の組み合わせについての詳細は、お近くの販売会社(営業所)までお問い合わせください。

適用下地	●	○
●コンクリート面(現場打ち)	●セメント建材系	●塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜)
●モルタル仕上り面	●ALCパネル	●鉄部
		●カラー鋼板(トタン屋根など)

※上記に記載されている1缶当りの塗り面積は、1工程当りの塗り面積です。また、あくまでも目安であり、素地の形状により増減しますので、あらかじめご了承ください。

施工上の要点

●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- ①素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、pH9以下)
- ②ファインウレタンU100シリーズは2液反応形塗料です。塗料液と硬化剤の混合割合(重量比=9:1)は、必ずまもってください。
- ③硬化剤は、必ず専用品をご使用ください。
- ④塗料は内容物が均一になるようによく混ぜてください。薄めすぎは隠れい力不足、仕上り不良となりますので注意してください。
- ⑤希釈用シンナーは塗料用シンナーAをご使用ください。冬期など乾燥が遅れるときは、塗料用シンナーSAをご使用ください。
- ⑥シンナーで希釈しすぎると作業性能(グシ性)などが低下しますのでご注意ください。
- ⑦調色には専用原色をお使いください。ごく淡彩ではカラーマックスFAでの調色が可能です。
- ⑧塗装機などの塗装器具は、あらかじめ洗浄し、他の塗料の混入がないようにお願いします。他の塗料と混ざりますと、つやびけや性能低下の原因になる場合がありますのでご注意ください。
- ⑨はけ、ローラー、塗装機などの洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- ⑩主剤:硬化剤を混合した塗料は、必ず、その日のうちに使いきってください。(ポットラ

- イフを超えた塗料は使用しないでください。)
- ⑪硬化が不十分な場合は、塗料用シンナーで再溶解する場合があります。
- ⑫防塵・防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- ⑬新しい塩化リミネート、ソル鋼板では可塑剤が移行するおそれがありますので、塗装を避けてください。
- ⑭はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗分量、表面肌が異なり、色相差がでますので、はけ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ⑮よこれ、みずなどにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑯つや調整品を使用する場合は上塗り①(中塗り)に、「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りますと、つやわらの生じることがあります。
- ⑰新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてファイン浸透シーラー、1液浸透シーラーをお使いください。
- ⑱内部塗り替えにおいて、旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は塗膜はく離の可能性があります。

注意事項

●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- ①塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので塗装を避けてください。
- ②外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合および強風時は塗装を避けてください。
- ③塗装時、塗料の取り扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。溶剤系塗料のため、室内での塗装時および塗装後も、必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても開口部などの養生を行ない、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- ④飛散防止のため養生を行ってください。
- ⑤シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとして、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などにより、はく離、収縮割れが起こることがあります。
- ⑥上塗りにさえたイエロー、オレンジ、ブルー、グリーン系色相は隠れ性が弱いので、隠れ性のよい共色を下塗りしてから上塗りをしてください。
- ⑦建物の構造によっては低汚染性が発揮されない場合がございます。特に次の条件下で塗装される場合はご注意ください。
 1.笠木などの水切りのない壁面 2.汚れ成分がたまりやすい突起物の下の壁面 3.その他汚れが局部的に溜まりやすい部位の下部
- ⑧過剰希釈をすると本来のつやが発現しない場合がありますので、標準希釈量を守ってください。
- ⑨ドアパッキング、プラスチックなどの可塑剤を含むものにファインウレタンU100を塗装した面が直接触れると、軟化したり、付着によりはく離を起こす場合がありますので、接

- 触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- ⑩異なる色相で塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗り1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色(ブリード)によりする場合がありますのでご注意ください。
- ⑪鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- ⑫エスパーワンIIでの逆タッチアップはしないでください。
- ⑬カウンター、陳列棚、ベンチ、床面など物が常時置かれるような場所には塗装しないでください。油脂分(人の手油などを含む)やアルコールなどがつくと、塗膜が軟化して色移りする場合があります。
- ⑭水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ⑮濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣服など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- ⑯つや調整品(7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り)は被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと若干違って見える場合があります。見本塗り板、またはあらかじめ試し塗りをして確認してください。
- ⑰蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタック、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れが更に拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。

ニッペ ファインウレタンU100

8つの特長

①防藻・防かび

バイオ技術により、藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。

②低汚染性*

独自の親水化技術により、すぐれた低汚染性を有しています。

※専用の低汚染形硬化剤を使用した場合に限りです。

③防錆性*

ポリウレタン樹脂系上塗塗料の耐候性と、シアナミド鉛さび止めペイント (JIS K 5625) 相当の防錆性を有しています。

※専用の防錆形硬化剤を使用した場合に限りです。

④仕上がり性にすぐれています

かぶり(隠べい性)が抜群で、肉持ちの良い塗膜が得られます。

⑤ターペン可溶

塗料用シンナーで希釈するタイプですので、改修時に下地を気にせず安心してご使用いただけます。また、臭気が柔らかく、作業環境にもやさしい塗料です。

⑥幅広い適用性、すぐれた性能

外壁、鉄部、木部などの新設、塗り替えと幅広く使用でき、すぐれた耐候性、耐水性、耐アルカリ性などの性能を発揮します。

⑦すぐれた塗り替え適性

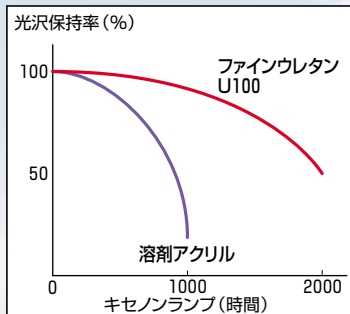
弱溶剤塗料ですので、幅広い旧塗膜に直接塗装することができます。

⑧透湿性があります

水蒸気透過性にすぐれており、結露から建物をまもります。

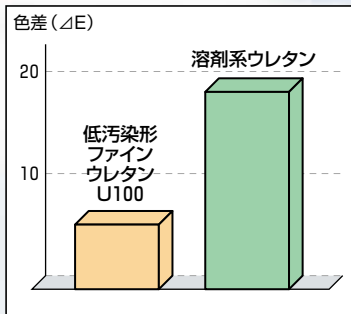
●高耐候性

【促進耐候性試験結果】



●低汚染性

【屋外暴露6ヵ月の雨だれ汚染試験結果】



※色差 (ΔE) は、数値が大きいくほど雨だれ汚染性が悪いことを示しています。

●性能

試験項目	規格	性能	
容器の中での状態	堅い塊がなくかくはんにより一様になること。	合格	
混合性	塗料液と硬化剤が簡単に混ざること。	合格	
作業性	ローラー、吹付け作業に支障がないこと。	合格	
ポットライフ (h)	8以上/23℃	10	
乾燥時間 (分)	指触	60以内/23℃	20
	半硬化	120以内/23℃	40
60度鏡面光沢度	80以上	85	
耐水性 (23℃)	水に7日間浸しても異常がないこと。	合格	
耐アルカリ性	5%NaOH溶液に24時間浸しても異常がないこと。	合格	
促進耐候性	照射時間 1200時間で見本品と比べて促進耐候性が劣らないこと。	合格	

●実用性能表

比較項目	ファインウレタンU100	市販アクリルウレタン (ウレタンシンナータイプ)	市販アクリルウレタン (塗シンナータイプ)
希釈率	5~10%	20~40%	5~10%
ポットライフ	10時間	4時間	9時間
はけさばき	◎	△	○
はけ目	◎	○	○
かぶり	◎	△	△
光沢	◎	◎	△
肉持感	○	○	○
ローラーマーク	○	○	○
かぶり	◎	△	△
光沢	◎	◎	△
肉持感	○	○	○
発泡性	◎	△	△
ダレ性	○	○	△

塗膜性能

試験項目	試験条件	ファインウレタンU100	防錆形ファインウレタンU100	市販2液形ウレタン (ウレタンシンナータイプ)	市販2液形ウレタン (塗シンナータイプ)	
初期性能	光沢	60°鏡面光沢度	85	85	90	74
	鉛筆硬度	7日間乾燥後	H	H	H	F
	付着性	1mm幅10×10目盛目	100/100	100/100	100/100	100/100
	耐屈曲性	φ2mmの折り曲げ	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
耐薬性	耐アルカリ性	23℃ 5%苛性ソーダ液 24時間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	耐酸性	23℃ 3%硫酸液 24時間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	つや引け発生
耐久性	耐水性	23℃ 7日間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	耐温水性	60℃ 24時間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	つや引け発生
	温冷繰り返しサイクル試験	JIS A 6909 複層仕上塗材 10サイクル	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	促進耐候性	キセノンランプ1200時間 光沢保持率	85%	85%	85%	70%

標準塗装仕様

新設の場合

●コンクリート面 吹付けタイル仕上げ (JIS A 6909 複層塗材E)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	こみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー	1~2※1	0.16~0.20	3時間以上7日以内※2	無希釈	—	ウールローラー/エアレススプレー
主材	タイルラックEMA-Sベース100K	1	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	吹付け
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

●DANタイルの上塗りとして使用できます。(JIS A 6909 防水形複層塗材E)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	こみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー (透明)	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー/はけ
中塗り	ベース吹き	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	吹付け
上塗り	横棟吹き	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	吹付け
ヘッド押さえ 必要に応じてヘッド押さえを実施する。							
上塗り①	ニッペ弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー/エアレススプレー
上塗り②	ニッペ弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

●コンクリート面 平滑仕上げ

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	こみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー	1~2※1	0.16~0.20	3時間以上7日以内※2	無希釈	—	ウールローラー/エアレススプレー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

●一般鉄部

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、塵埃、油脂分なども入念に除去する。						
下塗り	ハイボンファインプライマー-II	1	0.16~0.18	4時間以上5日以内※2	塗料用シンナーA	0~10	はけ
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、1液ハイボンファインデクロ、速乾シアナミドヘルゴン下塗、速乾PZヘルゴンエコも使用できます。
※さびが発生しやすい溶接部などの現場溶接部については、入念な下地調整後、下塗り塗料 (さび止め塗料) で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※1) むれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。
※2) 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

塗り替えの場合

●各種外壁 吹付けタイル・サイディングボードなどのトップコートの塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。こみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りに「ファイン浸透シーラー」を塗装してください。

標準塗装仕様

●コンクリート・モルタル面 微弾性フィラーを用いた塗り替え (JIS A 6909 可とう形改修塗材E)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。こみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	アンダーフィラー弾性エクセル	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	1~3	砂骨ローラー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

●一般鉄部

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り*	ハイボンファインプライマー-II	1	0.16~0.18	4時間以上5日以内※2	塗料用シンナーA	0~10 0~5	ウールローラー エアレススプレー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、1液ハイボンファインデクロ、速乾シアナミドヘルゴン下塗、速乾PZヘルゴンエコも使用できます。
※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料 (さび止め塗料) で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

●一般鉄部 (防錆形ファインウレタンU100での塗り替え)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびはワイヤブラシや、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。※1						
上塗り①	防錆形ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り②	防錆形ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	はけ・ウールローラー

※1 さびの発生が著しい場合や海浜部などの腐食環境が厳しい場合は十分な下地調整をした上で、下塗り (ハイボンファインプライマー-IIなど) を塗装してください。
注) 特にさびが発生しやすい突起部やエッジ部の塗付け量に注意してください。

●木部

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	よごれ、付着物などをサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックニスなどで処理しておく。						
下塗り	1液ファインウレタンU100 木部下塗り	1	0.12~0.20	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	はけ・ウールローラー

※「1液ファインウレタンU100木部下塗り」に「ファインウレタンU100」は混ぜられません。

●各種弾性形塗料の塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	旧塗膜のほごり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
上塗り①	弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー/エアレススプレー
上塗り②	弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※旧塗膜上塗りが一液形アクリル弾性の場合…メーカーによっては不具合 (チズミ) が起きる場合がありますので、その日のうちに2回塗りで仕上げてください。

●金属素地系 アルミカーテンウォール

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ハイボンファインプライマー-II	1	0.16~0.18	4時間以上10日以内	塗料用シンナーA	0~10 0~5	ウールローラー エアレススプレー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※シーリングの劣化には別途工事を要します。

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。